

家庭科

1年

※MS 特太ゴシック体は学力向上に関わる内容

※下線部は表現する能力の向上に関わる内容

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技術</p> <p>前授業の復習や反復練習を行い、本授業とのつながりや目標をもたせることで、<u>意欲・関心をもち授業にのぞむ生徒が増えた。</u></p> <p>コロナにより実習ができない状況になっている。家庭により行っているが、基礎的な技術の習得や作業・体験経験の違いによる技術差が大きく到達度に差が出てしまう。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>基礎的な知識や技術を習得できている生徒多いが、応用力や発展した考えを求める課題に積極的に取り組めない生徒が少なくない。<u>自分の言葉や考え方を伝えるのが、難しい生徒が少なくない。</u></p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>給食を中心に栄養を考え、成長期を考えた食事のとり方に生かそうと意識をもつ生徒が増えた。</p>	<p>1 知識・技術</p> <p>生徒が興味をもち主体的に考察し、応用・発展的な考えができる課題を工夫し指導を行う。</p> <p>単元ごとに家庭ノートやワークシートで、授業のまとめを行い知識、技術の定着を図る。</p> <p>家庭等で実習をしてもらっている。</p> <p>学校内で体験できる課題を設定し、練習の機会を増やし技術差を改善していく。</p> <p><u>グループ学習で協力し作業を行い互いの技術の向上を図る。</u>小グループや個別指導により、き技術差をなくす工夫をしていく。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>基礎的な知識・技能の定着を確実に図り、生活の中で思考、応用、発展的な考え方ができる能力を育てる。<u>身近な生活の中の課題に取り組み、その結果を家庭ノートやワークシートにまとめ発表し合い、互いの関心、興味を広げ、表現力を高める指導を行う。</u></p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>調理などの体験学習を増やすために、長期休業中に食品や調理器具の扱いに慣れることや食品の選択、献立の立て方、実習、考察レポートなどを取り入れた課題を家庭で実践する。</p> <p>日常生活の中で、自ら考え判断し課題に取り組み、基礎的な技能の向上を図り、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>